

社協 おうたき

第

78

号

令和 4年 8月 1日 発行

社会福祉法人
王滝村社会福祉協議会

〒397-0201

長野県木曾郡王滝村2830-1

TEL 0264 (48)2008

FAX 0264(48)3033

支え合いの



社会参加の花畑づくり(7/21)



97歳のじいちゃんが社協の草むしり(5/23)



ボラ講座で子どもたちに竹馬づくり(7/22)



小学生が夏休みにお花の水やり(7/28)

いろいろなカタチ

令和3年度事業報告・・・2～5P

令和3年度収支決算・・・6～7P

「思い」がつなぐ・・・

あなたのできることを、できる時に、また、高齢になっても役割や生きがいをもって、形にとらわれない自分らしいボランティア、あなたも探してみませんか！

令和3年度おもな事業の報告



「感染予防ブレイク」のなかで、新型コロナウイルスの感染が続く中、ボランティア講座では、安心してサロンや教室、ボランティア活動などを継続していただくこと、ゲーム感覚で楽しく学ぶ感染予防教室が開催されました。

地域の先生に教えてもらおう！

昨年のどんぐり広場では、陶芸教室の他、つる細工やしめ縄リース飾りなど、さまざまな体験教室が開催されました。地域の方々が、趣味や技能を生かして講師として協力してくださっており、いつも助かっています。

地域支え合い活動の促進

地区サロンと情報交換会

10月28日 九蔵・滝越地区サロン 参加者 8名
出張介護教室他 ※啓発月間開催

◇地域福祉活動

ボランティア・福祉啓発

1. ボランティアの育成・支援

登録ボランティア 15メニュー 116名 (成人16%)
ボランティア講座 2回開催 参加者 16名
※その他、ボランティア交流会、お楽しみ弁当勉強会などを実施。

2. 第32回福祉・健康の集い(社会福祉大会)

『福祉・健康啓発月間』(R3.10月) 延498人

3. 福祉教育

小中学生夏休みボランティア体験 4メニュー
7月26日～8月18日 参加者 26名

福祉講座

6月15日 車いす・点字体験(小5) 参加者 3名

◇地域福祉サービス



	実施回数	利用者	延利用者数(前年度比)
1 どんぐり広場	12回	6組7名	46人 (△14人)
2 ミニ児童館	242日	18名	154人 (△332人)
3 ふれあい元気づくり教室	12回	18名	119人 (△3人)
4 お楽しみ弁当	14回	44名	474人 (△16人)
5 ごたくらぶ	12回	7名	59人 (+22人)
6 会食会	- 回	- 名	- (- 名) ※
7 障がい者希望の旅	1回	5名	- (+5名)
8 障がい者交流会	1回	4名	- (+1名)
9 金銭管理・財産保全サービス	- 日	- 名	- 人 (- 人)



ボランティア講習会で作成した手書き葉書。豪雨災害で避難されていた滝越の皆さんにお届けしました。

「※」は新型コロナウイルス感染予防のため開催中止

◇生活資金貸付事業

1. 暮らし資金(独自事業)

貸付件数/残高 2件(410,000円)
☆新規貸付 1件 ☆償還終了 1件

2. 生活福祉資金(県社協受託)

新型コロナ特例貸付(緊急小口資金)
貸付件数/残高 1件(200,000円)
☆新規貸付 1件 ☆償還終了 1件



☆『地域支え合い会員』登録者115名

地域での自主的な支え合い活動を応援させていただこうと、令和3年度より、新たに社協会員制度とリンクした「地域支え合い会員」を設置し、ボランティア活動保険に加入させていただくことになりました。

☆“Withコロナ”で事業継続

昨年も新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、会場や実施内容を工夫し事業が継続できるよう努めて来ました。



◇介護保険(障害福祉)サービス

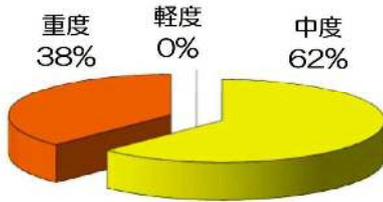
	営業日	利用者	延利用者数
1 居宅介護支援事業	242日	35名 ◎新規11名	293人
2 通所介護(デイサービス)	257日	29名 ◎新規11名	1,867人
3 訪問介護(ホームヘルプ)	308日	14名 ◎新規5名	1,615人
4 障がい者ホームヘルプ	308日	-名	-人
移動支援サービス		1名	46人

保育園からおみこしがやって来た！
新型コロナウイルスの影響で村祭りに参加出来なかった子どもたちが、手作りのお神輿を担いでデイサービスを訪問。

＜居宅介護支援事業＞

介護状態別ケアプラン作成状況(延件数)

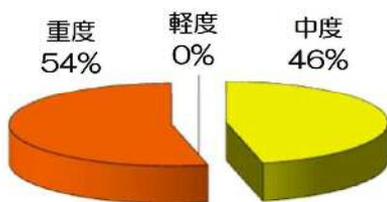
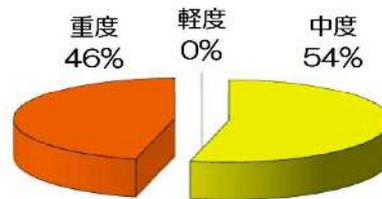
	3年度	2年度	増減
軽度	0件	23件	△23件
中度	183件	194件	△11件
重度	110件	103件	+7件
合計	293件	320件	△27件



＜デイサービス＞

介護状態別利用状況(延人数) ◎1日平均利用者7.3人(+0.8人)

	3年度	2年度	増減
軽度	-人	-人	-人
中度	1,006人	1,004人	+2人
重度	861人	656人	+205人
合計	1,867人	1,660人	+207人



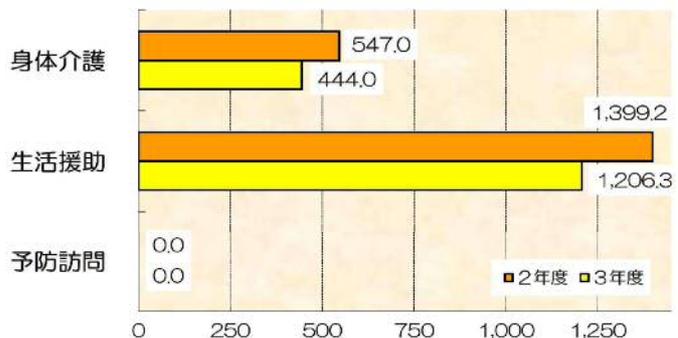
＜ホームヘルプサービス＞

介護状態別利用状況(延回数)

	3年度	2年度	増減
軽度	-回	-回	-回
中度	749回	411回	+338回
重度	866回	1,211回	△345回
合計	1,615回	1,622回	△7回

◎延訪問時間 1,650H(前年度比△296H)

※1回当たり訪問時間(平均) 61分(前年度比△15%)



☆訪問介護の利用時間が大幅に減少

訪問サービスでは、利用者数は前年度より微増となりましたが、**重度利用者の施設入所等により**、サービス利用時間は前年度比△15%と大幅に減少。事業の継続には常勤で2.5人以上の専門職配置が必要となっていますが、**国の基準に合わせたサービス継続が困難な状況**となっています。

☆デイサービスの利用が若干回復

デイサービスでは、月平均156人のご利用をいただきました。昨年3月より木曽町三岳地区の利用者の受入れもあり、前年度より若干の回復を見せましたが、三岳地区の利用者を除くと、1日平均6.1人と過去最低の利用状況となっており、過疎化の進行する地域における介護保険サービスの継続は非常に難しい状況となっています。

＜障がい者ホームヘルプ＞ ※移動支援サービスのみ

	3年度	2年度	増減
◎延訪問回数	46回	50回	△4回
◎延訪問時間	920H	104.0H	△12.0H



◇介護予防・生活支援事業

☆配食サービスの 利用者が急増

村内のひとり暮らしや高齢者のみの世帯は、高齢者の6割以上を占め、ここ数年、生活支援のニーズが高まっています。配食サービスは、月平均415食のご利用をいただき、前年度より+146食(155%)と大幅に増加しましたが、今後の体制や設備の充実が必要となっています。

☆予防接種の送迎補助

昨年は、新型コロナのワクチン接種が3回行われ、介護が必要な皆さんの送迎のお手伝いをさせていただきます。

	実施回数 (日数)	利用者	延利用者数(前年度比)
1 いきいきサロン	12回	7名	67人 (△14人)
2 配食サービス	484回	28名	4,978人 (+1,756人)
3 生活支援訪問サービス	110日	20名	181人 (+32人)
① 介護予防ホームヘルプ	-	-名	-人 (-人)
② 生活支援ホームヘルプ	-	20名	181人 (+32人)
4 介護教室	5回	41名	48人 (△22人)
5 介護者リフレッシュ	4回	10名	17人 (±0人)
6 外出支援サービス	220日	41名	904人 (△140人)
7 ひとり暮らしよらまい会	4回	29名	66人 (+2人)
8 心配ごと相談所	15回	-	10人 (△4人)

R3認知症安心ネットワーク事業

- (1) 認知症地域支援推進員 1名(兼任)
- (2) 相談支援体制の整備
 - ① 介護・認知症相談(年2回)
 - ② 認知症に関する情報提供&認知症講座(年2回)
 - ③ 介護サービス利用者家族会の開催(年2回)
- (3) 支援関係者と地域の支援ネットワークづくり
- (4) 介護職員の資質向上、及び在宅介護の相談支援の充実

R3生活支援ネットワーク事業

- (1) 生活支援ネットワーク会議 (運営委員14名)
6月30日・・・令和3年度推進計画他
- (2) 地域支え合い推進会議 (推進委員25名)
第1回 6月30日・・・令和2年度推進目標他
第2回 3月30日・・・実施状況と次年度の取組み
- ☆専門委員会 計2回開催
 - ① 生活支援と見守り活動 ② 居場所づくり&健康・生きがいづくり ③ 社会参加と就労支援
- (3) 生活支援コーディネーター 1名(兼任)
- (4) 体制整備に関する諸事業
 - ① 地域支え合い研修&支援者養成講習
10月26日 参加者27名
☆支援者養成講座 7月13日 参加者8名
『知って安心!楽しく体験できる感染予防』
 - ② ニーズ調査活動
介護座談会『語ろう!地域の介護』(10/26)
その他、生活支援ニーズの聞き取り調査等
 - ③ 広報紙による情報周知
 - ④ ボランティア活動支援&支援活動の需給調整
 - ⑤ 遊休農地を活用した取り組み
景観整備花畑&王滝かぶづくり 参加者 延100人
・厚生労働省「地域共生社会に向けた...拠点に関する調査研究事業」ヒアリング調査(2/15)
※詳しくは⇒ https://www.jri.or.jp/2021_kyoten

◇生活支援ハウス運営事業

入居者4世帯5名(365日 24時間営業)
☆新規入居 4世帯(5名) ☆退所 2世帯(2名)
※滝越豪雨災害避難(R3.8~) 2世帯2名



学んで、若々しく!
事業への参加の少ない男性の皆さん。料理教室での一所懸命な姿が素敵!



久びさの外出です!!

感染状況の「波」をぬって、よらまい会では郡内へ日帰り旅行に出かけました。ひとり暮らしの皆さんにとって、お喋りに花が咲く貴重な交流の場です。



令和3年度の福祉・健康の集いは、新型コロナ感染対策のため10月を『福祉・健康啓発月間』として分散開催。保健福祉センターでの期間展示&販売の他、学校や公民館の施設をお借りした記念講演や特別企画、ビデオステージなどを織り交ぜて“Withコロナ”で実施しました。

令和3年10月 第32回福祉・健康の集い 福祉・健康啓発月間

“はじめよう、今できること！”
『思い』でつなぐ、地域の未来

★社会福祉大会&記念講演



10月16日

参加者 68人

会場/小中学校体育館

『あなたがあなたのままで輝くために』～心ゆたかに生きる知恵～
京都大行寺住職 英月 さん



中学生の「ふるさと」の合唱の他、元気な子どもたちの出演、健康体操をビデオクリップにまとめ上映。

さまざまな課題に直面する時、私を「別の私に変える」のではなく、「私を私に変える」こと、私が私としていただいた命をありのままに受け入れることができた時、「命の質」が変わり人生の景色が変わります。新型コロナの影響で2年振りの開催となった記念講演。ひとりひとりが「心のゆたかさ」や「自分の居場所」について見つめ直す充実したひと時となりました。

参加者 延227人（一般来場 72人）

◆特別企画 10月26日 参加者 49人 『地域の介護について考えよう！』

第1部 地域支え合い研修会

『認知症になっても安心して暮らせる村づくり』

第2部 介護座談会 『語ろう！地域の介護』

★期間展示&販売 10月5日～28日



◆作品展示

小中学生作品展示
高齢者活動展示



◆伝えよう！「なつかしい王滝」

展示&販売コーナーでは、今年度から木曾町中学へ編入する中学生たちとの集いで交流を振り返る展示や、牧尾ダムに水没した集落のなつかしい風景なども展示され、来場された皆さんの会話も弾みます。

◆チャリティー販売

木曾養護学校&作業所等販売
共同募金啓発ブース
(募金額18,000円)

◆特別企画 10月15日 参加者 24人 （公民館体育室） 『ご長寿カップ』競技大会

新型コロナウイルスで集いの場が少なくなる中、五輪に負けずに一緒に汗を流そうと、軽スポーツの競技大会が開催されました。



王寿会&ごたくらぶ共催

★センター事業の一般開放

参加者 延154人
（一般参加 22人）

社協の事業

ひとり暮らしよら
まい会、ごたくらぶ
ふれあい元気教室
いきいきサロン

村の事業

定期健康相談
まめまめ運動教室
脳元気教室
フレイル予防教室

自主サロン

男性健康教室、JA
女性部健康サークル



★啓発資料&グッズ

保健福祉事業の一般開放も行われ、対象者の皆さんと一緒に参加。また、来場者には健康、食事、認知症、災害などの啓発資料や、健康づくり、感染予防などのグッズの配布も行われました。

令和3年度一般会計決算

“繰入決算で厳しい財政状況続く”

歳入合計 72,522,018円
 歳出合計 72,077,120円
 差引残高 444,898円

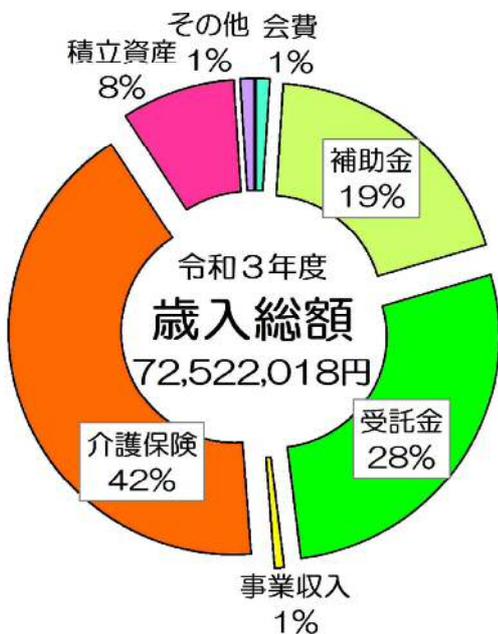
令和3年度は、前年度より微減の歳出決算額となりましたが、積立資産からの多額の運営補填を余儀なくされ、厳しい財政状況が続いています。運営補填のための積立資産取崩額は△600万円弱に上り、財政調整のための積立資産は底をつき、固定資産更新に必要な積立資産も目的外に取崩し充当しました。新型コロナウイルス特例貸付に係る臨時収入や、人件費の抑制、施設の光熱水費負担金の減免、収支状況の大幅悪化による車輛更新の取り止め等の歳出抑制がなければ、更に△800万円以上の取崩しが必要な決算状況でした。

介護保険事業では、通所介護利用状況の若干の回復により、事業収入全体は前年度より増加しましたが、訪問介護は、サービス提供時間の減少により前年度より△10%の収入減少となりました。近年の事業収入の大幅な落ち込みにより、通常の経営努力では国の基準に沿った介護事業の継続が困難な状況となっており、事業に不可欠な車輛等の施設整備も課題となつていきます。



歳入

(単位：円)

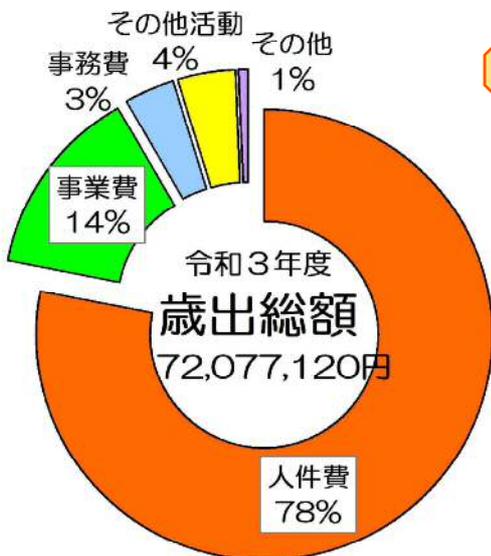


	決算額	前年度決算額	増減
1 会費	715,000	738,000	△23,000
2 寄附金	81,640	150,000	△68,360
3 補助金	14,164,202	15,286,279	△1,122,077
4 受託金	19,996,518	17,941,731	2,054,787
5 貸付事業収入	130,000	230,000	△100,000
6 事業収入	494,800	589,200	△94,400
7 介護保険事業収入	30,500,268	28,366,388	2,133,880
8 障害サービス収入	331,200	296,800	34,400
9 施設整備等補助金	0	597,520	△597,520
10 基金・積立金取崩	5,906,074	7,873,848	△1,967,774
11 前期繰越金	200,000	200,000	0
12 その他	2,316	14,426	△12,110
合計	72,522,018	72,284,192	237,826

※「補助金」は共同募金配分金収入(486,202円)を含む。
 ※「事業収入」は介護保険事業、受託事業以外の利用料等の収入。

歳出

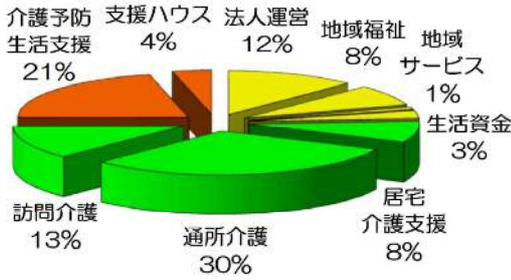
(単位：円)



	決算額	前年度決算額	増減
1 人件費	56,278,121	53,802,138	2,475,983
2 事業費	9,811,386	11,869,453	△2,058,067
3 事務費	2,561,837	2,687,771	△125,934
4 貸付支出	0	500,000	△500,000
5 固定資産取得支出	401,500	597,520	△196,020
6 その他の活動支出	2,952,627	2,685,298	267,329
7 基金・積立金積立	14,649	150,012	△135,363
8 その他	57,000	62,000	△5,000
合計	72,077,120	72,354,192	△277,072

※「その他の活動支出」は退職給付引当資産等の支出。

事業別歳出決算額の内訳 (単位：円)



= 各サービス区分のおもな事業 =

◇地域福祉推進事業 * 計6事業

①地域福祉推進事業 ②ボランティアの育成・支援
③福祉教育の推進 ④調査広報事業 ⑤社会福祉大会 ⑥福祉活動の促進・支援等

◇地域福祉サービス * 計7事業

①どんぐり広場/ミニ児童館 ②会食会他 ③ふれあい元気づくり教室 ④お楽しみ弁当 ⑤ごたくらぶ
⑥障がい者希望の旅 ⑦障がい者の交流促進等
☆ 上記事業の内、利用者の皆さまの利用料等
計238,100円 (対事業費 38%)

◇介護予防・生活支援事業 計9事業

①いきいきサロン ②配食サービス ③生活支援訪問サービス ④介護教室 ⑤介護者リフレッシュ事業
⑥外出支援サービス ⑦心配ごと相談所
☆ 上記事業の内、利用者の皆さまの利用料等
計1,982,200円 (対事業費 84%)

⑧生活支援ネット事業 ⑨認知症安心ネット事業

※「*」の事業の内、計10事業に会員の皆さまの年会費を充当しています。「◇」の事業は、共同募金配分金事業です。(計5事業)

拠点/サービス区分	決算額	前年度決算額	増減
1 法人・地域福祉活動	17,219,560	16,838,915	380,645
1 法人運営事業	8,923,573	9,852,854	△929,281
2 地域福祉推進事業	5,524,969	5,511,895	13,074
3 地域福祉サービス	695,009	707,154	△12,145
4 生活資金貸付事業	2,076,009	767,012	1,308,997
2 介護保険サービス	36,804,542	37,613,346	△808,804
1 居宅介護支援事業	5,774,491	4,753,420	1,021,071
2 通所介護事業	21,980,569	24,207,478	△2,226,909
3 訪問介護事業	9,049,482	8,652,448	397,034
3 介護予防・日常生活支援事業 (受託事業)	18,053,018	17,901,931	151,087
1 介護予防・生活支援事業	15,382,918	15,236,031	146,887
2 生活支援ハウス運営事業	2,670,100	2,665,900	4,200
合計	72,077,120	72,354,192	△277,072



※ 法人運営事業は、基金組入額(14,640円)を含む。
※ 生活資金貸付事業は、新型コロナ特例貸付事務委託費(2,100,000円)を含む。

介護保険事業の収支 (単位：円)

	居宅介護支援	通所介護	訪問介護	合計
歳出決算額 a	5,774,491	21,980,569	9,049,482	36,804,542
介護保険事業収入 b	4,083,130	20,565,732	6,182,606	30,831,468
その他の収入 c	0	67,000	0	67,000
差引過不足額 (b+c)-a	△1,691,361	△1,347,837	△2,866,876	△5,906,074
(他事業繰出/繰入金)	△1,691,361	△1,347,837	△2,866,876	△5,906,074
(次年度繰越金)	0	0	0	0



※「介護保険事業収入」は、障害福祉サービス収入を含む。内、利用者の皆さまの利用料 計3,932,654円 (対事業費155%)
※「その他の収入」は、経常経費寄附金(現物寄附分)。

R3 基金・積立金の状況

R4.3.31現在 (単位：円)

基金・積立金	積立額	取崩額	残高	用途
地域福祉基金 ※地方交付税財源	0	0	77,739,000	◎果実運用(社会福祉事業へ)
	14,640	0		一般寄附金積立額
	11,112,230			◎果実等運用(地域独自の福祉サービスへ)
福祉基金 ※寄附金等財源	0	0		
	△3,036,345			運営補填取崩額(2事業充当)
	0			◎基盤整備、介護保険経営補填準備金
法人安定化積立金	0	0		
	△2,869,729			運営補填取崩額(2事業充当)
	11,266,718			◎消耗資産の更新準備金(8件)
固定資産積立金	9	0		預金利息積立額
	0			
	1,499,870			◎生活資金貸付事業原資



※ 令和3年度は、事業財源不足による運営補填のために、法人安定化積立金、及び固定資産積立金(目的外取崩)より、介護保険事業へ5,906,074円(3事業)を取崩し充当しました。(当初取崩予算 12,057千円)

※ 法人安定化積立金は、基幹的な人員体制整備のための人件費財源の確保、及び介護保険事業が赤字決算の場合の財源補填等を目的に積み立てています。

※ 固定資産積立金は、サービス運営に不可欠な車輦等の固定資産に関し、償却年数の古い資産から優先的に積立っています。

～令和3年度監査意見よい①～

◇介護や福祉の人材確保 ～法人運営～

人材確保は地域の共通の課題となっているが、介護や福祉の人材確保も将来へ向けて大きな課題となっている。雇用の場としての側面も含め、有資格者の育成や人材確保のための地域全体での取り組みが必要と考えられる。

～令和3年度監査意見よい②～

◇介護保険事業の経営状況と

介護サービスの確保 ～収支状況～

積立資産の取崩決算額は、経費節減等により前年度より抑制が図られているが、介護保険サービスの収支状況は、依然非常に厳しい状況となっている。地域にとって公的になくならないサービスとして、適切な対策が必要と考えられる。



昨年10月に行われた介護座談会の様子

～令和3年度監査意見よい③～

◇住民の声を反映する仕組みづくり

～事業展開～

昨年は「語ろう！地域の介護」と題した座談会が企画されているが、こうした住民の「生の声」を行政も含め広く地域で共有し、安心して暮らせる地域づくりのために、実施する事業や行政施策に反映できるような取り組みに期待したい。

お節料理で歳末お見舞い
昨年8月の豪雨災害により
9ヶ月に渡り避難生活を送
られた滝越の皆さん。年末
のお楽しみ弁当では、避難
者の皆さんにお節料理をお
届けさせてもらいました。



センターの業務

- 被災状況&支援ニーズの把握
- 災害ボランティアの募集
- 被災者相談窓口の設置&支援ニーズ受付
- 災害ボランティアの受付&活動に必要な支援
- 災害対策本部との情報共有、関係機関との連携等

災害ボランティアセンターに関する協定を締結

近年全国で多発する大規模災害。東日本大震災以降、自治体を越えた相互連携の流れが進み、また、被災地へは各地から多くのボランティアの皆さんが支援活動に駆けつけて下さっています。こうした中、令和3年10月1日付で、王滝村と災害ボランティアセンターの設置・運営に関する覚書を締結させていただき、必要な体制整備と協力体制を確認させていただくことになりました。

設置場所 (指定) 公民館、野口コミセン等

令和3年度寄付者ご芳名

(受付順)

いつもありがとうございます!

寄付金総額 81,640円

一般寄付金

個人 細尾 美智代 様
匿名 様

物品寄贈

団体 (株)介護センター花岡 様
介助用車いす 1台

※ この他にも、地域の皆さまから手づくりの野菜や山菜、果物などの食材、介護用の綿布など、たくさんの頂きものがありました。(計81件) 大切に使用させていただいています。



介護センター花岡より寄贈された介助用車いす。軽量で重宝しています。